お知らせ

◆復活！
遠藤文学原点の旅【日帰り版】
夏の軽井沢の「生誕百年・遠藤周作展」＋講話＆野外パーティ
日時　7月22日(土)　14時～17時
（現地集合・現地解散）
✤ただし、希望者はホテルに宿泊可能（20名限定）
会場　軽井沢高原文庫（長野県北佐久郡軽井沢町長倉202の3）
講話　大藤敏行・高原文庫館長
パーティー（軽食と飲物は実費制）
※詳細と申込み方法については7ページをご覧ください。

◆劇団民藝KEIKOBA公演
善人たち
原作・遠藤周作『善人たち』
演出・小笠原響
✤長崎で発見された未発表戯曲がいよいよ上演されます！
とき　8月3日(木)～13日(日)
ところ　劇団民藝稽古場
小田急黒川駅、京王若葉台駅から徒歩7分
料金　一般5,500円／仲間の会員5,000円○※ただし周作クラブ会員は5,000円に割引（当日会報を持参してください）
申込先　劇団民藝
TEL 044・987・7711
川崎市麻生区黒川649の1（鶴川街道沿い）

◆遠藤周作の新刊本
自分づくり
――自分をどう愛するか〈生き方編〉
生誕百年記念新装版
青春文庫　900円（税込）
青春出版社　1月刊
※生きるのが少しだけラクになる、遠藤周作からの心のメッセージ。「私も臆病だし、小心で卑怯」という著者がユーモアを交えたやさしい語り口でありのままの自分の愛し方について考える。

◆遠藤文学講座
遠藤周作の文学と実像
講座名「編集者が語る素顔の作家たち」
※オンラインでの参加も可能
講師　宮島正洋（アートデイズ編集長・元新潮社編集者）
日時　8月19日(土)／9月2日(土)
※いずれも15時30分～17時
会場　神奈川大学みなとみらいキャンパス
横浜市西区みなとみらい4の5の3
最寄り駅は、みなとみらい線「みなとみらい駅」下車6分。
内容　1回目は「遠藤文学における『悪』のテーマ」。2回目は「名作『沈黙』への道」。
※遠藤編集長の「三田文学」時代から身近に接してきた講師が、その実像と作品から遠藤文学を読み解きます。
受講料　2回分　5,000円
申込先　KUポートスクエア
TEL 045・682・5553

◆生誕百年に遠藤周作を読む
講座名「文章を表現する技術」　7～9月期
※オンラインでの参加も可。
講師　加藤宗哉（作家）
日時　7月14日(金)、8月18日(金)、9月8日(金)
いずれも13時～14時30分
会場　朝日カルチャーセンター新宿
※《人を感動させる物語》は、国や時代が違っても変らないと言います。それを持っている作家・作品が、多くの人びとの心を捉えるのでしょう。では、遠藤周作が持っていた《人を感動させる物語》は何か。遠藤作品が世紀を越えて読み継がれる理由を探ります。取りあげる作品……『沈黙』『侍』『深い河』『わたしが・棄てた・女』、そして狐狸庵エッセイ等。毎回、資料はコピーして配布します。オンラインの方へはデータを送付。
受講料　会員9,000円（70歳以上は入会無料）／一般13,200円
申込先　朝日カルチャーセンター新宿
TEL 03・3344・1945
新宿区西新宿2の6の1
新宿住友ビル10階
※最寄り駅は、都営大江戸線「都庁前」駅、JR「新宿」駅西口。

✤　✤　✤

✤「会報」の原稿募集
会員の皆さんの原稿を募集しています。900字（半ページ分）あるいは1800字（1ページ分）。遠藤周作の人と作品について、あるいは遠藤文学との関わりなど、何でも結構です。
なお、原稿は必ず下記「周作クラブ」宛てに郵送するか、下記Eメール（原稿添付）でお送りください。掲載の際にはご連絡差しあげます。

✤「周作クラブ」会員募集
「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。
年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「新年会」「周作忌」「文学セミナー」や遠藤作品の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」、そして「オンライン懇親会」にも参加できます。下記「周作クラブ」まで、ハガキかEメールでお申込みください。折り返し、資料と会費用振込用紙をお送りします。

✻編集後記✻

▼遠藤先生は素人劇団「樹座」を主宰され、また「宇宙棋院」という素人囲碁の会の主宰者でもあった。「樹座」はスタッフは超一流、座員はド素人で宇宙棋院も、まったくのヘボ碁の集団であった。会員は作家と編集者、ただし女性会員は身分を問わず、遠藤先生のめがねにかなった者、だった。
▼ともあれ僕は、どちらの会も幹事をつとめていて、あれこれ何かと忙しかったのである…。（劔）
▼4月の末に、友人3人で軽井沢に行ってきた。「追悼　加賀乙彦館長～軽井沢高原文庫と歩んだ25年」展を訪ね、周作クラブ会長のご冥福を祈りつつその足跡に触れるためである。7月に復活する「遠藤文学原点の旅」の下見にもなった有意義な日帰り旅だった。
▼今年の周作忌は、オンラインと直接参加のハイブリッド形式で9月30日（土）に慶應大学三田校舎で行われる。詳細は次号でお知らせするが、コロナがようやく5類となっての初めての周作忌。まだ、飲食について詳細は決まっていないが、皆さん、どうぞ周作忌に足をお運びください。（亀）

「周作クラブ」第91号
2023年5月発行
■編集人　高橋千劔破
■副編集人　亀岡　園子
■編集部　一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子
■発行所　東京都世田谷区上馬4-29-17
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」
Eメール　Shusaku_club@yahoo.co.jp